

わくわく化学実験ランドを開催しました

日時:2013年4月21日 10時から12時

場所:サイタセンター

担当者:物質生命化学科 鷗浦啓・栗山恭直

桜の季節にしては、めずらしく雪が降る中 23組の家族(総勢 60人)が実験に参加してくださいました。前半は、化学反応から熱エネルギーや電気エネルギーを取り出す実験を行ないました。紙コップに鉄粉と活性炭と食塩水を加えて混ぜる発熱し、水蒸気が確認できるほど高温になります。同じ材料でステンレス板を利用して別々に反応させると電池になりプロペラモーターが回転し、子どもたちから歓声があがりました。後半は、化学反応と光エネルギーの実験で、身の回りの光るものを探したり、ホタルの光の原理を学びました。ケミカルライトを使って化学発光の実験を行ないました。蛍光ペンでおえかきボードに光る作品を作りました。



開催した日は科学技術週間の最後の日曜日にあたり、標語の「何でだろう? そう思えばスタートライン」に多くの子供達が立ってくれたと思います。来年も開催予定ですので皆さんの参加をお待ちしております。